

全体	No.4
個別	002-01

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名	本 部
-----	-----

No.	項 目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】 昨年度、対馬の観光ガイドブックの日本語版をリニューアルし、文字も見やすいようにとA4サイズで作成しました。本年度は増大している韓国人観光客向けに韓国語版を作成していきます。また、既存の対馬PRポスターを対馬の観光資源を活用し、よりインパクトのあるものを作成していきます。</p> <p>その他、昨年度作成したスマートフォンで利用する韓国語観光アプリケーションを活用し、日本語・英語版のアプリケーション作成も同時に行い、より一層の情報システムの構築を目指します。</p> <p>また、主に外国人観光客の満足度向上・消費拡大を図るため公衆無線LANサービス環境整備（Wi-Fi）を行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光ガイドブック（韓国語版）の作成 20,000部 ・日本人及び英語圏観光客に向けた対馬の観光地案内や、買い物飲食店情報などを発信し、消費拡大するためのアプリケーションを制作します。 ・公衆無線LANサービス環境整備（Wi-Fi）をおこない外国人観光客の満足度向上および消費拡大を図ります。
	2. 実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光ガイドブック（韓国語版）を作成しました。 20,000部 ・日本人及び英語圏観光客に向けたアプリを制作しました。 ・公衆無線LANサービス環境整備（Wi-Fi）を実施しました。
	3. 評 価	○
		<p>目標指標をほぼ確実に実施する事が出来、国内外への情報ツールが拡充されました。この事により対馬を訪れる観光客は基よりビジネス客、市民にとっても手厚いサービスを受けることが出来、満足度の向上につなげることが出来たと考えます。</p>
	4. 今後の展開	<p>当面、アナログ・デジタル化による情報発信システムは構築されました。今後はこれらのシステムを多くの方へ知っていただけるように周知しながら、また情報の更新を行いより一層便利で多くの方々に利用いただける情報発信システムになるよう整備を進めて行きます。</p>

全体	No.5
個別	002-02

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	本部
----	----

No.	項目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大												
	1. 組織目標													
		<p>【内容】</p> <p>①仏像問題で影響が心配されますが、対馬3大イベントをはじめとする国際交流イベントをバランス良く開催支援し、国内外へ対馬をアピールし交流人口の拡大を図ります。</p> <p>②通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国人観光客の増加を図ります。</p> <p>【指標】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・国境マラソンIN対馬</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,200人</td> </tr> <tr> <td>・対馬厳原港まつり</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">30,000人</td> </tr> <tr> <td>・対馬ちんぐ音楽祭</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">600人</td> </tr> <tr> <td>・韓国人観光客数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">150,000人</td> </tr> </table>	・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,200人	・対馬厳原港まつり	観客数	30,000人	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	600人	・韓国人観光客数		150,000人
・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,200人												
・対馬厳原港まつり	観客数	30,000人												
・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	600人												
・韓国人観光客数		150,000人												
	2. 実績(成果)													
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・国境マラソンIN対馬</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">約1,388人</td> </tr> <tr> <td>・対馬厳原港まつり</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">約30,000人</td> </tr> <tr> <td>・対馬ちんぐ音楽祭</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">約280人</td> </tr> <tr> <td>・韓国人観光客数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">約180,000人</td> </tr> </table>	・国境マラソンIN対馬	参加者数	約1,388人	・対馬厳原港まつり	観客数	約30,000人	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	約280人	・韓国人観光客数		約180,000人
・国境マラソンIN対馬	参加者数	約1,388人												
・対馬厳原港まつり	観客数	約30,000人												
・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	約280人												
・韓国人観光客数		約180,000人												
	3. 評価	○												
		<p>国境マラソン、対馬厳原港まつり、韓国人観光客数が目標を上回ることができました。特に、韓国人観光客数は目標を大きく上回る観光客数が対馬を訪れており、今後も観光客数の増加を図っていきます。</p> <p>その一方で、対馬ちんぐ音楽祭については、今年度屋内ステージでの実施となった影響もあり、観客数が昨年度を下回りました。開催内容や今後の運用形態等も含め再度検討が必要と考えます。</p>												
	4. 今後の展開													
		<p>引き続き各イベントの実行委員会と連携しながら、対馬の宣伝事業や交流イベントの支援を効果的に行っていくことで、観光客の誘致に努めていきたいと思えます。特に、対馬ちんぐ音楽祭については、今後の展開についての協議が必要と考えられるため、実行委員会との連携を密にし、運営や実施内容について再編をしていきたいと考えています。</p>												

全体	No.6
個別	002-03

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	本 部
----	-----

No.	項 目	重点誘致対象分野を絞った企業誘致
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	
		<p>地域経済の活性化や若者の島内定住、雇用創出などを促進するため、対馬の自然（海、山、里）が生み出す資源、素材を活用した「農林水産業関連の企業」をはじめ、「情報通信関連企業」「旅館業等観光関連産業」を重点対象分野としています。</p> <p>その中でも昨年度に引き続き、韓国からの観光客急増に伴い、宿泊施設に対する緊急的な対応として、宿泊施設の誘致に取り組みます。長期的な取り組みとしては、昨年度から募集している「三宇田地区宿泊事業者募集」を継続し、北部対馬の振興につながるホテル誘致を目指します。また公園事業計画に向けて長崎県との協議を継続します。</p>
	【 指 標 】	
		三宇田地区宿泊事業者候補企業に1社を設定し交渉を開始します。
	2. 実 績（成果）	
		三宇田地区宿泊事業者候補企業に1社を設定し交渉をすることができませんでした。自然公園法の保護規制を緩和するため公園事業計画策定に向けて、長崎県と協議を行いました。
	3. 評 価	△
		<p>三宇田地区ホテル用地は、壱岐対馬国定公園内にあり、自然公園法の第2種特別地域に指定されています。自然公園法では、国定公園内の風致景観を保つため各種保護規制があります。このことで厳しい建築基準となるため、三宇田地区宿泊事業者候補企業を設定し交渉を進めることができませんでした。公園事業を執行することにより、国定公園内園地を有効かつ適正に活用する観点から、保護規制が緩和されます。保護規制が緩和されることにより、ホテル建設等について、有利な条件で建設することが可能となるため、長崎県と公園事業について協議を行いました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		引き続き三宇田地区ホテル用地宿泊施設事業者の候補企業について、縁故地縁等の情報を頼り、企業と接触していくとともに、宿泊施設の規模や形態についても再考していきます。

全体	No.7
個別	002-04

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名	本 部
-----	-----

No.	項 目	しまとく通貨のPR及び加盟店への勧誘
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 長崎県内のしま市町で共通に利用できる20%のプレミアム付商品券 島外からの観光客・ビジネス客を対象に市町の加盟店（対馬島内約160店舗）で利用できる「しまとく通貨」を販売し、離島での消費拡大を図ります。</p> <p>【 指 標 】 ◎しまとく通貨のPR（広報誌 7月号・11月号）・各種イベントでのPR ◎加盟店勧誘 5店舗増</p>
	2. 実 績（成果）	<p>◎広報誌7月号に掲載しPRを行いました。 ◎首都圏でのPRを行うとともに各種イベントにおいてPRを実施しました。 ◎平成25年度末の加盟店数は、209店舗になりました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>指標について、数値目標のとおりほぼ達成することができました。 広報誌及び各種イベントでのPRをするとともに、加盟店についても増加することができました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>事業開始2年目となるので、さらなるPR活動の強化と加盟店の増加に努め、観光客等の誘客と消費の拡大を図ります。</p>

全体	No.8
個別	002-05

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名	本 部
-----	-----

No.	項 目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。								
	1. 組織目標									
	<p>【 内 容 】</p> <p>物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品PR・販路開拓を図ります。特に今年度は4年に1回開催の食博覧会・大阪への出展や市制10周年記念イベントとして開催します。</p> <p>福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のPRと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。</p> <p>本年11月オープン予定の「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、PR・集客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。</p> <p>「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。</p> <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">・九州管内での物産展等の開催</td> <td style="text-align: right;">5回以上</td> </tr> <tr> <td>・各種物産展の企画・出展・斡旋</td> <td style="text-align: right;">10回以上</td> </tr> <tr> <td>・対馬特産品取扱店舗開拓</td> <td style="text-align: right;">20店舗</td> </tr> <tr> <td>・海山交流イベント</td> <td style="text-align: right;">4回</td> </tr> </table>	・九州管内での物産展等の開催	5回以上	・各種物産展の企画・出展・斡旋	10回以上	・対馬特産品取扱店舗開拓	20店舗	・海山交流イベント	4回	
・九州管内での物産展等の開催	5回以上									
・各種物産展の企画・出展・斡旋	10回以上									
・対馬特産品取扱店舗開拓	20店舗									
・海山交流イベント	4回									
	2. 実績(成果)									
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の物産展では、主に福岡県内で7回、東京3回、長崎2回、大阪2回、その他多数の出展・出品を行いました。(合計18回) ・福岡や京都等で対馬特産品取扱店舗の開拓ができました。 ・海山交流イベントでは、熊本県山江村と3回、岐阜県中津川市と3回の交流事業を行いました。 									
	3. 評 価	○								
	<p>指標については、数値目標をほぼ達成できました。物産展への出展により、消費者の求める商品が把握でき、売れる商品づくりに繋がりました。また飲食店やホテル等への食材提供により、物産品及び対馬のPRが図られ認知度向上に繋がりました。</p>									
	4. 今後の展開									
	<p>継続して物産展を開催・出展することで、知名度の向上を図るとともに都市圏でのイベント開催・出展による認知度向上及び販路拡大を行います。また消費者ニーズに応じた商品開発や販売方法等の改善を図るため、専門家による勉強会や相談・指導、バイヤー商談会等を開催し、売上げの増加に繋がっていきます。</p>									

全体	No.9
個別	002-06

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名	本 部
-----	-----

No.	項 目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。										
	1. 組織目標											
		<p>【 内 容 】</p> <p>市内商店街は、人口減少や大型店の出店などにより依然としてにぎわいが低迷しています。しかし昨年は約15万人の韓国人観光客が来島しました。これら急増している韓国人観光客及び今年度より実施をします「しまとく通貨」など交流人口の拡大によるプラス環境を十分に活かします。そのため、各種普及啓発（研修会等の開催等）及び商工業支援事業を実施するとともに、資金面における下支えも行い、商業地域を中心としたにぎわいづくりを行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">商店街活性化の研修会等の開催</td> <td style="text-align: right;">年3回</td> </tr> <tr> <td>商工業活性化の協議</td> <td style="text-align: right;">年3回</td> </tr> <tr> <td>対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対馬市農商工連携支援事業補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対馬市小規模企業融資補助金</td> <td></td> </tr> </table>	商店街活性化の研修会等の開催	年3回	商工業活性化の協議	年3回	対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金		対馬市農商工連携支援事業補助金		対馬市小規模企業融資補助金	
商店街活性化の研修会等の開催	年3回											
商工業活性化の協議	年3回											
対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金												
対馬市農商工連携支援事業補助金												
対馬市小規模企業融資補助金												
	2. 実績(成果)											
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工業活性化の協議を行いました。（3回） ・ 商店街活性化にぎわい創出事業を実施しました。（4件 採択） ・ 対馬市農商工連携支援事業補助金 （1件 採択） 										
	3. 評 価	○										
		<p>指標については、ほぼ達成できました。</p> <p>商工業の活性化を目的に説明会やNAGASAKI起業家大学「短期セミナー」を実施することで、商業支援等の各種支援策、助成事業を知ってもらうことができました。また、商店街にぎわい創出支援事業では地域住民を集めたイベントを実施するなど、にぎわいを創出することができました。</p>										
	4. 今後の展開											
		<p>創業、起業等の支援を積極的に行いつつ、現状の商工業の活性化を目指して研修会や商工業活性化の協議を実施していきます。また、中心市街地の活性化のために島のタウンマネージャーを採用し、地域の魅力を向上させ、まちなかからにぎわいを創出していきます。</p>										

全体	No.10
個別	002-07

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	上対馬観光物産事務所
----	------------

No.	項 目	外国人観光客に優しい環境を整えます。
	1. 組織目標	
	【内容】	
	①カードの使える店舗を増やす。 対馬では両替ができないためカード端末機の設置店舗を増やし、買い物のしやすい環境を整えます。	
	②韓国語講座の実施 韓国への理解と気軽に観光客に声を掛けられる住民が増えることにより、安心して観光できる環境をつくります。	
	③おもてなし座談会の実施 外国人観光客を迎える環境整備のため、座談会において情報を共有し、問題解決を図ります。	
	【指標】	
	①カード端末機新規設置店舗数	5店舗
	②韓国語講座受講者数	30人
	③座談会の開催回数	2回
	2. 実績(成果)	
	①上対馬管内で店舗を構える経営者に対し、クレジットカード決済に関する聞き取りアンケートを実施しました。(56店舗) その結果をもとにクレジットカード端末機未設置店舗へ個別に趣旨説明をし導入をすすめました。(新規設置5店舗)	
	②韓国語講座を前期と後期に分けて4コース各10回実施 トータルの講座回数80回、受講者数95名(前期52名、後期43名)	
	③座談会は未実施	
	3. 評価	○
	①②については目標を達成し、確実に受け入れ態勢は整ってきています。 また、②について成人対象の講座とは別に、小・中・高校へ出向き韓国語はもとより文化・風習などの講義も行い幅広い年代に韓国への理解を求められたのではないかと考えます。 ③の座談会は実施できなかったものの、今年度は外国人を含めた観光客に対する環境整備に向けワークショップを開催しました。また、地域住民や事業者その他まちづくり団体との協働作業により、基本的考え方や整備イメージを検討しました。(上対馬地区リゾート計画)	
	4. 今後の展開	
	韓国観光客が地域振興の大きな鍵となっており、今後もその動向や課題等を的確に把握し、ニーズにあった観光地として地域住民とともに取り組んでいきます。	

全体	No.1 1
個別	002-08

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	福岡事務所
----	-------

No.	項目	福岡における対馬市の認知度向上及び物産の消費拡大を図ります。
	1. 組織目標	
	【内容】	一人でも多くの対馬ファンを獲得し、認知度アップに繋げるため、ホテル、飲食店等を回り、対馬サポートショップを獲得していきます。 また、福岡の女性に対してコアなファンを獲得するため、「つしまドンナ」を結成し、旅行客の増大を図り対馬の地域経済の活力向上を図ります。
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・つしまチカラサポートショップ 60店舗 ・「つしまドンナ」 6名認定 ・ブログ更新とアクセス数（月間平均）のアップ
	2. 実績（成果）	
		<ul style="list-style-type: none"> ・つしまチカラサポートショップに46店舗登録。 質が高い店舗（積極的に対馬のPRを行ってくれる店舗）を重点的に事業展開しました。 ・つしまドンナ6名認定。 つしまドンナ認定後、つしまドンナの方向性、平成26年度から実施するつしまドンナの応募条件等について会議を実施しました。 ・ブログアクセス数：9,400アクセス/月。
	3. 評価	○
		<p>つしまチカラサポートショップの登録は目標を下回りましたが、質が高い店舗（早く対馬のPRを行ってくれる店舗）を重点的に事業展開を行いました。</p> <p>しかし、登録後のサポートショップの活動を十分に把握できていないという状況です（飲食店は夜間営業が多いため）が、対馬の食および観光PRという意味では感触がうかがえます。</p> <p>また、つしまドンナについては、平成25年度に6名を認定し、平成26年度から実施する「つしまドンナ」の応募条件等の会議・協議を行いました。</p> <p>ブログアクセス数は月平均が9,400アクセスでした。対馬の「！」な情報を周知することができました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>対馬観光物産協会嘱託職員と連携し、一人でも多くのコアな対馬ファン獲得を図ります。</p> <p>そのため、ブログで対馬の「！」を一つでも多く、情報発信していきます。</p> <p>また、口コミ情報発信力強い女性を、つしまドンナを認定することで、対馬の「！」を情報発信してもらいます。</p>